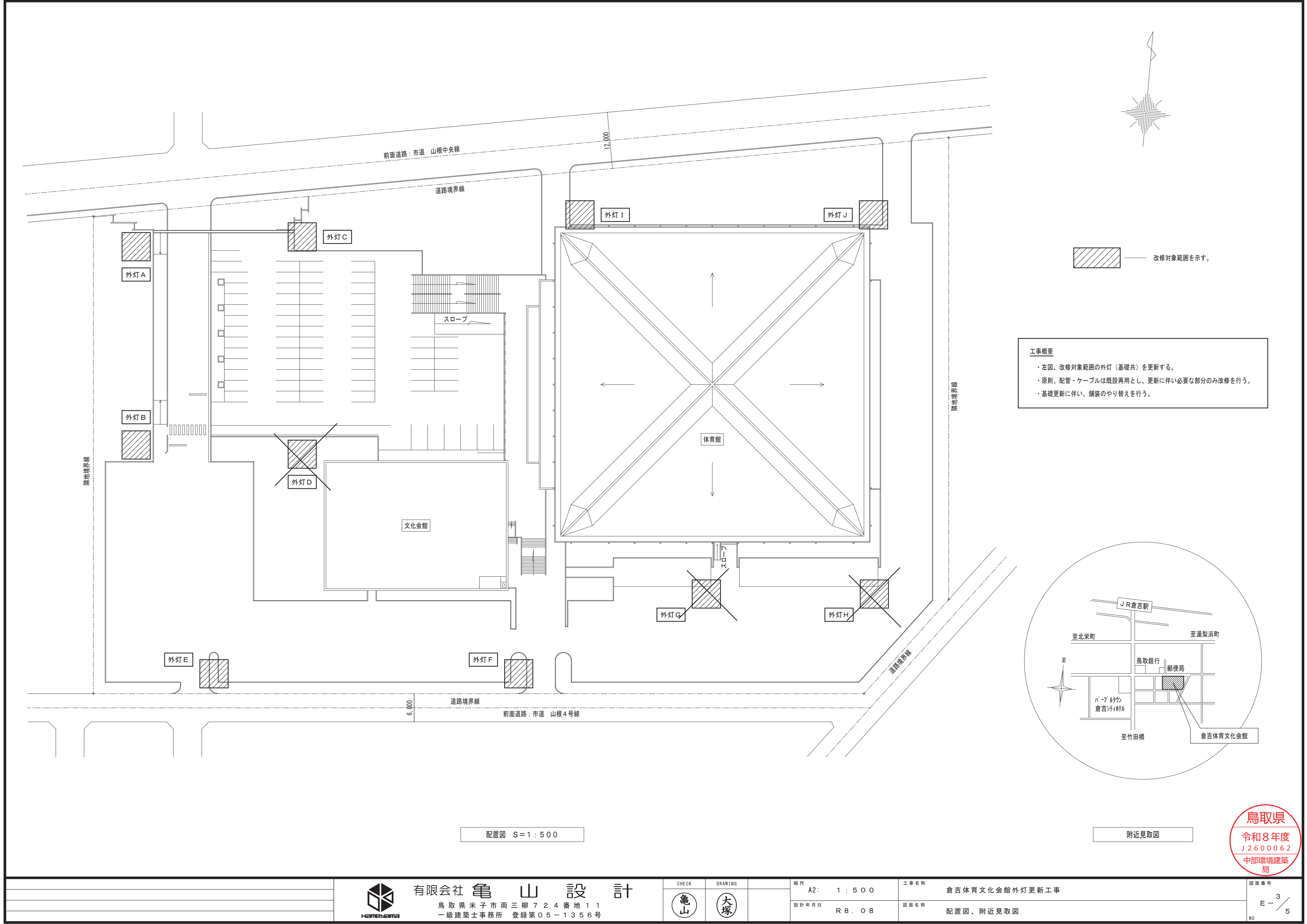


倉吉体育文化会館外灯更新工事

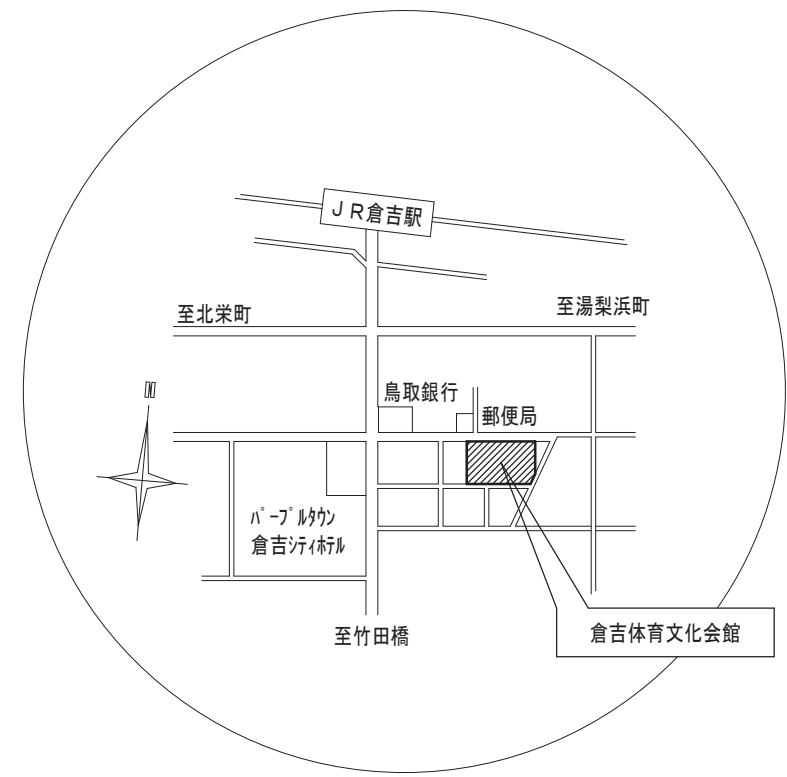
図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E- 0 / 5	表紙、図面リスト	—
1 / 5	電気設備工事特記仕様書（１）	—
2 / 5	電気設備工事特記仕様書（２）	—
3 / 5	配置図、附近見取図	１：５００
4 / 5	照明器具参考姿図、分電盤 L A-1 結線図（既設（参考））、特記	—
5 / 5	外灯設備 配置図（改修）	１：５００





工事概要

- ・左図、改修対象範囲の外灯（基礎共）を更新する。
- ・原則、配管・ケーブルは既設再利用とし、更新に伴い必要な部分のみ改修を行う。
- ・基礎更新に伴い、舗装のやり替えを行う。



配置図 S=1：500

附近見取図

鳥取県
令和8年度
J2600062
中部環境建築局

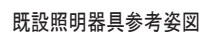
		 有限会社 亀 山 設 計 鳥 取 県 米 子 市 両 三 柳 7 2 4 番 地 1 1 一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 0 5 - 1 3 5 6 号	CHECK	DRAWING		縮 尺	A2: 1 : 5 0 0	工 事 名 称	倉 吉 体 育 文 化 会 館 外 灯 更 新 工 事	図 面 番 号
						設 計 年 月 日	R 8 . 0 8	図 面 名 称	配 置 図、附 近 見 取 図	E - 3 / 5 NO

新設照明器具参考姿図

(改修後)

※図中品番は参考とする

※加工方法は、採用メーカーの仕様による



(撤去)

本体：アルミダイカスト
グローブ：アクリル

特記

TS : タイムスイッチ 仕様
24時間式
ソーラー機能付
停電補償10年間
電子式 1回路型

MCCB2P50/20AT (2E)	× 4 (200V)
MCCB2P50/20AT (2E)	× 16 (100V)
ELCB2P50/20AT (2E)	× 4 (200V)
24時間式タイムスイッチ	× 4

鋼板製・屋内壁掛型（半埋込設置）

分電盤 LA-1 結線図 (既設 (参考))

1

1 階 監視室



有限会社 亀 山 設 計

CHECK



DRAWING



縮尺	
----	--

A2: — —

設計年月日

R 8 . 0 8

工事名称

倉吉体育文化会館外灯更新工事

图面名称

照明器具参考姿図、分電盤 LA-1 結線図（既設（参考））、特記

图面番号	
------	--

E - $\frac{4}{5}$

凡 例		
記 号	名 称	摘 要
	既設ハンドホール	900×900×1500H
	既設ハンドホール	900×900×900H

外灯C (撤去)		1基
灯具	: 水銀灯400W×1	
ポール	: φ76. 3-φ139. 8、H6000	
RC基礎	: 4000×H1100程度	
↓		
外灯C (改修後)		1基
灯具・ポール	: B400×1	
RC基礎	: 5000×H1400	

外灯Ⅰ（撤去）		1基
灯具	: LED灯（水銀灯250W相当）×1	
ポール	: φ89.1-φ139.8、H5000	
RC基礎: 400□×H1100程度		

外灯I (改修後)		1基
灯具・ポール	: B400×1	
RC基礎	: 500 [□] ×H1400	

外灯 J (撤去)		1 基
灯具	: 水銀灯 400 W× 1	
ポール	: φ 89. 1-φ 139. 8、H 6000	
RC 基礎 : 400 □× H 1100 程度		

外灯J (改修後)		1基
灯具・ポール	: A400×1	
RC基礎	: 500 [□] ×H1400	

外灯 A (撤去)		1 基
灯具	: 水銀灯 400W×1	
ポール	: φ89. 1-φ139. 8、H6000	
RC基礎: 400 [□] ×H1100程度		

外灯A (改修後)		1基
灯具・ポール	: B400×1	
RC基礎	: 500 [□] ×H1400	

外灯B (撤去)		1 基
灯具	: 水銀灯400W×1	
ポール	: φ89. 1-φ139. 8、H6000	
RC基礎: 400□×H1100程度		

外灯B (改修後)		1基
灯具・ポール	: B400×1	
RC基礎	: 500 [□] ×H1400	

外灯D (撤去)		1基
灯具	: 水銀灯400W×1	
ポール	: φ89. 1-φ139. 8、H6000	
RC基礎	: 400□×H1100程度	

外灯D (改修後)		1基
灯具・ポール	: A400×1	
RC基礎	: 500 [□] ×H1400	

外灯G (撤去)		1基
灯具 : 水銀灯400W×1		
ポール : φ89. 1-φ139. 8、H6000		
RC基礎 : 480□×H1100 (GL+300) 程度		

外灯G (改修後)		1基
灯具・ポール	: A400×1	
RC基礎	: 500 [□] ×H1400	

外灯H (撤去)		1基
灯具	: 水銀灯400W×1	
ポール	: φ89. 1-φ139. 8、H6000	
RC基礎: 460□×H1100 (GL+300) 程度		

外灯H (改修後)		1基
灯具・ポール	: A400×1	
RC基礎	: 500 [□] ×H1400	

外灯E (撤去)		1基
灯具	: 水銀灯400W×1	
ポール	: φ89. 1-φ139. 8、H6000	
RC基礎: 400 [□] ×H1100程度		

外灯E (改修後)		1基
灯具・ポール	: B400×1	
RC基礎	: 500 [□] ×H1400	

外灯F（撤去）		1基
灯具	: LED灯（水銀灯250W相当）× 1	
ポール	: φ76. 3-φ139. 8、H6000	
RC基礎	: 400□×H1100程度	

外灯F (改修後)		1基
灯具・ポール	: B400×1	
RC基礎	: 500 [□] ×H1400	

配置図 S = 1 : 500 (改修)

中部総合事務所犬管理所照明設備 L E D 化改修工事

図 面 リ ス ト		
図 番	図 面 名	縮 尺
E - 00	表紙・図面リスト	NS
E - 01	電気設備工事特記仕様書（１）	NS
E - 02	電気設備工事特記仕様書（２）	NS
E - 03	配置図・付近見取図	S=1/300
E - 04	照明器具参考姿図	NS
E - 05	電灯設備 改修後 平面図	S=1/50
E - 06	電灯設備 改修前 平面図	S=1/50



I. 工事概要

2 建物概要

3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

4 **設備概要** (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)
 ◎の付いたものを適用する。

Ⅱ. 特記仕様

1 一般事項

2 特 記 事 項

鳥取県
令和8年度
J2600208
俗務部学備調

工事に必要な工事電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

設ける。（寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等として一括して表示する）

※ 工事表示板

● お願ひ表示板

記入要領

- 書体は角ゴシックとする。
- お願ひ表示板は平易な表現及び内容とし、監督官が指示するものとする。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別添「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の手すり据え置き方式又は（３）手すり先行工事足場方式により行う。

	一級建築士事務所／建築設備設計事務所 Mechanical & Electrical Engineers 	一級建築士事務所 管理建築士 川友加里 建築設備士 田村志郎	鳥取県知事登録 第 08-1014 号 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺 NS	工事名称 中部総合事務所犬管理所照明設備 LED化改修工事	図面番号 E-01 / 06
				(田村)	(川合)	(山下)	(山下)	設計年月日 2026. 08	図面名称 電気設備工事特記仕様書 (1)	

一般共通事項

⑬工事用仮設物

16 土工事

⑬電線類

⑬電線本数・管路等

19 屋外露出配管の仕上げ

20 露出配管の塗装（付属品含む）

21 波付硬質合成樹脂管（FEP）

22 フラッシュプレートの材質

23 カバプレート の表示

24 プルボックスの塗装

25 耐震施工

構内につくことが ※ できる ● できない

埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類（ ） ● 真砂土（ ）

建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積

本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。

EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。

盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。

ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ〔めっき付着量 300g/m²以上〕とする。

塗装する部分 ●屋上 ●屋側 ●屋外 ●廊下 ●機械室 ●居室（ ） ●

波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

● 金属製（ステンレス、新金属も含む） ● 樹脂製

シール等を貼付し、用途を表示する。

プルボックス（溶融亜鉛メッキ仕上げ）の塗装 ※ 無（素地仕上） ● 有（指定色仕上）

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

1）機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量〔kN〕に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

		● 特定の施設	● 一般の施設
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器
上層階	機 器	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水 槽 類	1.5	1.0
	機 器	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.0
	水 槽 類	1.0	0.6
地下及び1階	機 器	1.0	0.4
	防振支持の機器	1.0	0.6

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階

中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器（ ● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ● ）

2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

3）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（（一財）日本建築センター）を参考にする。

接地極の材料は次による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
● 共同接地	E _A E _D	10Ω以下	EB×3連－2組
● 共同接地	E _A E _C E _D	10Ω以下	EB×3連－2組
● A種	E _A	10Ω以下	EB×3連－2組
● B種	E _B	200Ω以下	EB×2連－2組
● C種	E _C	10Ω以下	EB×3連－2組
● D種	E _D	100Ω以下	EB×1
● 高圧避雷器	E _{LH}	10Ω以下	EB×3連－2組
● 交換機用	E _I	Ω以下	EB×3連－1組
● 通信用	E _{At}	10Ω以下	EB×3連－2組
● 通信用	E _{Dt} 及び E _{Dn}	100Ω以下	EB×1
● 電話引込口の保安器用	E _{Lt}	100Ω以下	EB×1
● 測定用	E _o	－	EB×1

（通結の場合、EBはD＝14 L＝1500 または W＝40 L＝1200とする）
（E_D、E_{Dt}、E_{Dn}、E_{Lt}、E_oの場合、EBはD＝10 L＝1000 または W＝30 L＝900 以上とする）
（その他単独の場合、EBはD＝14 L＝1500 または W＝40 L＝1200とする）

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。

外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同じ仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。

分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

（測定時期： 測定場所： 測定点： ）

● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。

● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。

対象箇所（ ）

一般共通事項

⑭補修など

31 はつり

32 はつり工事における非破壊検査

33 あと施工アンカー

34 室内空気中の化学物質の濃度測定

⑭火災保険等

36 鳥取県公共事業環境配慮指針

37 建築物省エネ法

工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ●

1）施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う

試験方法 引張試験機による引張試験

確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する短期の引抜き力以上

試験箇所数 1施工単位に対し1本以上

対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置

実施する。

工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加する。

（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）

※ 対象工事

※ 対象工事

1 照明器具

②一般照明の照度測定

3 非常用照明の照度測定

4 照明制御の照度測定等

1）LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。

LEDの光源色（ ● 星白色 ● 温白色 ● 電球色 ）

測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。）

※ 設置した各部屋2箇所以上 ●

明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。

照度測定時期 100％点灯時（ ※ 夜間 ● 昼間 ）

調光制御点灯時（ ※ 夜間 ● 昼間 ）

1 機器への接続

● 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事

1 大地抵抗率の測定

2 外部雷保護設備接地システム

● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。

● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極

1 変圧器移動車輪

2 デマンド監視装置

3 盤内照明

75kVA以上に取付。

● 本工事 ● 別途工事

前・後に設置する。

1 交流無停電電源装置（UPS）

停電補償時間（ 分）

方式（ ● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式 ）

1 自家発電装置

● ディーゼル発電装置

● ガスエンジン発電装置

● ガスタービン発電装置

● 熱併給発電装置

● 燃料電池発電装置

運転時間（ h ）

系統連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 ）

出力（ kW ）

配電盤外箱（ ● 有 ● 無 ）

保安装置（ 重故障項目特記 ● 有 ● 無 ）

外部用端子（ ● 要 ● 不要 ）

減圧水槽及び初期注水槽の材質（ ● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製 ）

オイルタンク（ ● 地下 ● 屋内 ）

据付：機械設備工事標準図（ ● 施工30、32（タンク室無し） ● 施工31、33（タンク室有り））

燃料小出槽（ 注 ）：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。

材質（ ● 鋼板製 ● ステンレス製 ）

燃料油等（ ● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス（ ） ）

排気系統配管断熱材の厚さ（ mm ）

ばい煙測定口（ ● 設ける ● 設けない ）

排気ガスに含まれる窒素酸化物（ 以下）

運転音（ dB以下）

系統連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 ）

公称最大出力（ kW ）

耐風速（ m/s ）

パワーコンディショナ（ 相 線式 V ）

定格容量（ kW ）

自立運転機能（ ● 有 ● 無 ）

表示装置（ ● 有 ● 無 ）

方式（ ※ 液晶 ● ）

系統連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 ）

定格出力（ kW ）

3 風力発電装置

局線応答方式（ ● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式 ）

停電補償時間（ 分）

※ 本工事 ● 別途工事

※ モジュラージャック ● 電話用プレート

内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用／実装／容量）

● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台

● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台

卓上電話機1台につき次のものを見込む。

● ボタン電話機（ ● EM-BTIEE 0.4～2P ● ）（ ※ 15m ● ）

● 内線電話機（ ● EM-TIEF 0.65～2G ● TIVF 0.65～2G ）（ ※ 15m ● ）

● 多機能電話機（ ● EM-BTIEE 0.4～2P ● ）（ ※ 15m ● ）

● IP電話機（ ● EM-UTP 0.5～4P ● ）（ ※ 15m ● ）

1 マルチサイン装置

2 出退表示装置

3 時刻表示装置

イメージスキャナ（ ● 設ける ● 設けない ）

制御装置（ ● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形 ）

呼出機能（ ● 有 ● 無 ）

方式（ ● 発光ダイオード ● 液晶 ● ）

親時計（ ● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線 ）

太陽電池式屋外時計（ 点灯時間 h 点灯保証日数 日 ）

1 プロジェクタ

光出力（ ● I形 ● II形 ● III形 ）

解像度（ ● A形 ● B形 ● C形 ）

コントラスト比（ ● X形 ● Y形 ）

10 拡声設備

11 誘導支援

12 火災報知設備

13 構内配電線路

14 構内通信線路

15 テレビ電波受信障害調査

1 増幅器

形式（ ● 卓上形 ● ラック形 ）

定格出力（ W ）

性能（ ● Hi形 ● Lo形 ）

● 増幅器の入出力配線と外部配管（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。

1 音声誘導装置

検出方式（ ● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式 ）

1 自動火災報知設備

2 自動閉鎖設備

3 ガス漏れ火災警報設備

受信機（ ● 型 級 回線（蓄積型） ● 複合形 ● 単独形 ）

● 防火戸用（ ※ ラッチ式 ● 電磁式 ）

● 防煙ダンパー用（ ※ 電動復帰 ● 手動復帰 ）

● 防火シャッター用（ ※ 別途工事 ● 本工事 ）

検知器（ ● 天井取付形 ● 壁取付形 ）

1 施工方法

2 地中箱

3 高圧負荷開閉器

4 高圧ケーブルの端末部

5 高圧ケーブルの屋外端末処理

6 標識シート

7 照明用ポール

埋設深さ ※ GL－300以上、舗装のある場合は路盤下－300以上とする。

● GL－600以上（ ● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ● ）

蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。

● 閉鎖形（ ● 軽耐塩形 ● 重耐塩形 ） ● 地絡継電器付（ ※ 方向性 ● 無方向性 ）

● 避雷器内蔵

※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。

高圧ケーブルの両端部にシースの締め対策（熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。

※ 一般形 ● 耐塩形

※ 高圧 ● 低圧

照明用ポールには配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。

1 施工方法

2 地中箱

3 標識シート

埋設深さ ※ GL－300以上、舗装のある場合は路盤下－300以上とする。

● GL－600以上（ ● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ● ）

蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。

● データ回線 ● 電話 ● CATV ●

1 調査仕様

2 テレビ電波受信障害調査時期

3 受信する受信波及び地点数

4 報告書提出部数

図面に記載されていない事項は、すべて（一社）日本CATV技術協会の「建物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建物によるテレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。

※ 事前 ● 中間 ※ 事後

中継局 波： 地点

中継局 波： 地点

※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部

⑮機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名 称	測 点	取付高（mm）	
電力共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800～2,000	
	引込開閉器	地上～中心 1,800～2,200	
電	分電盤・OA盤・実験盤	床下～中心 1,500（上端1,900以下）	
	スイッチ	〃 1,300	
	〃（多機能トイレ）	〃 1,100	
	コンセント（一般）	〃 300	
	〃（和室）	〃 150	
	〃（台）	台上～中心 150	
	〃（土間）	床上～中心 800～1,300	
	〃（車椅子用）	〃 900	
	ブラケット（一般）	〃 2,100～2,300	
	〃（踊場）	〃 2,000～2,500	
〃（鏡上）	鏡上端～中心 150		
動	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500（上端1,900以下）	
	手元開閉器	〃 1,500	
	操作スイッチ	〃 1,300	
構内交換	端子盤	床上～下端 300	
	保安器箱	天井下～上端 200	
	壁付アウトレット	床上～中心 300	
電気時計	〃（和室）	〃 150	
	壁掛形親時計	床上～中心 1,500（上限1,900以下）	
	子時計	〃 天井高×0.9	
拡声			
	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9	
	壁付アッテネータ	〃 1,300	

2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

Ⅲ. 機 材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。

ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

小林制電㈱ ㈱平木電機産業

勝英産業㈱ ㈱富士オートメーション

㈱増岡電機製作所

鳥取県 令和8年度 建築設備協議会

一級建築士事務所／建築設備設計事務所

一級建築士事務所

管理建築士

建築設備士

鳥取県知事登録 第 08-1014 号

川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号

田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承 認

田村

管理技術者

川合

担 当

山下

作 図

山下

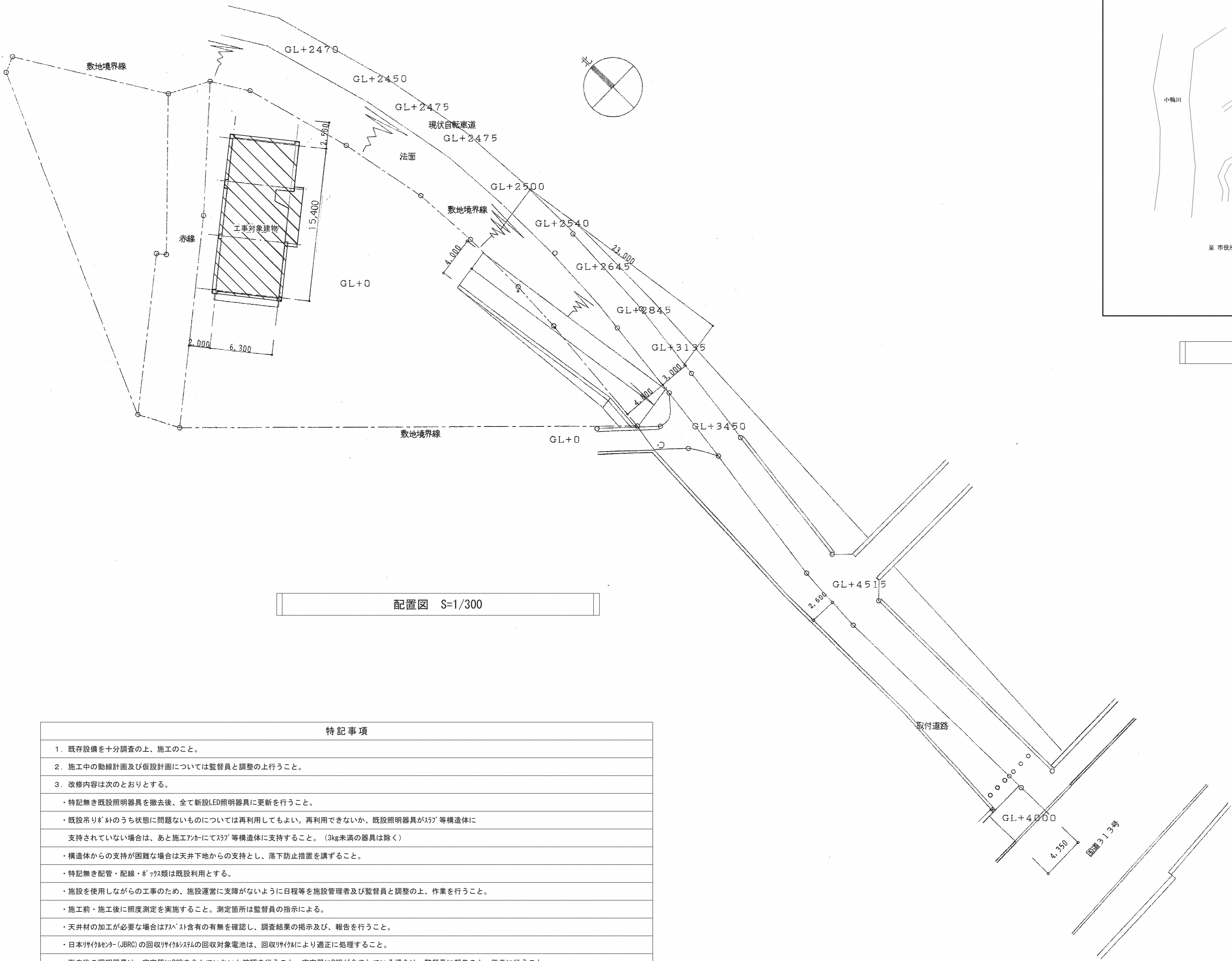
縮 尺 NS

設計年月日 2026. 08

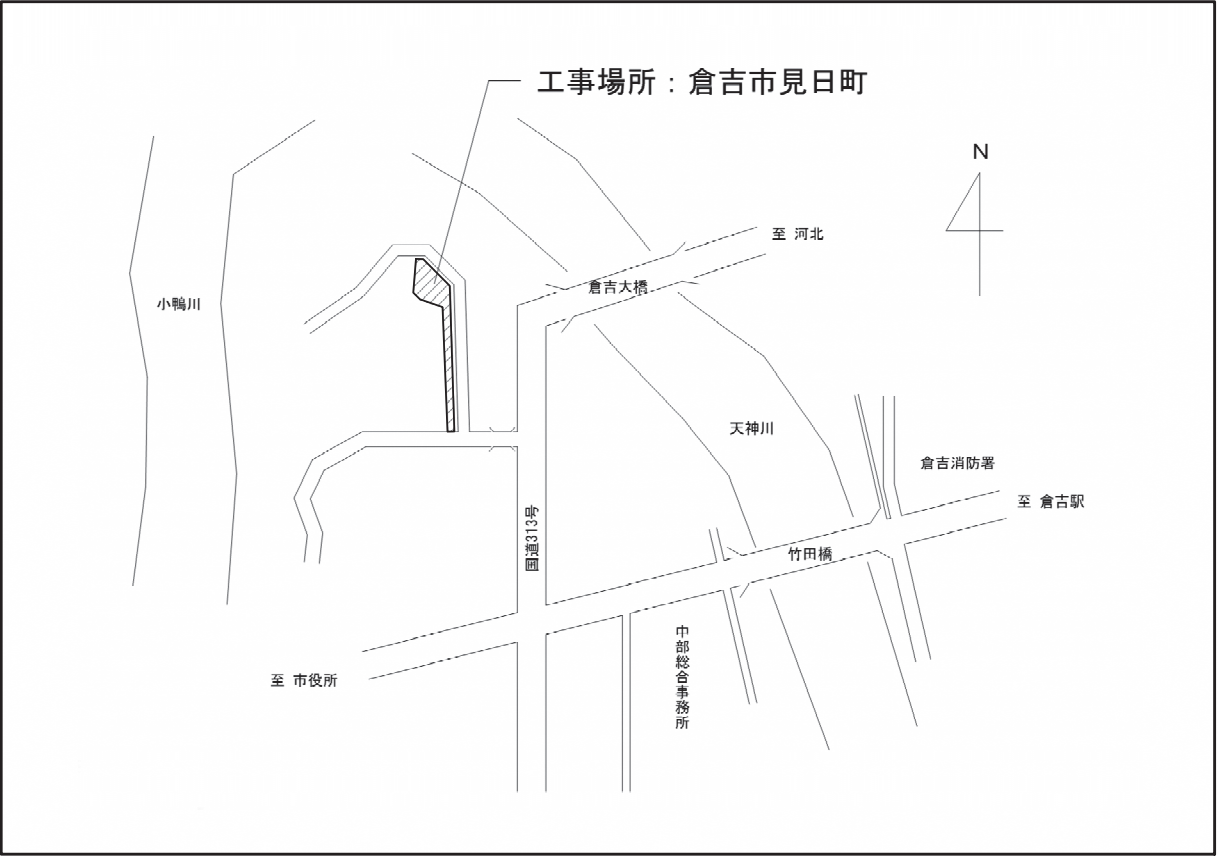
工事名称 中部総合事務所犬管理所照明設備LED化改修工事

図面名称 電気設備工事特記仕様書（2）

図面番号 E-02 / 06



配置図 S=1/300



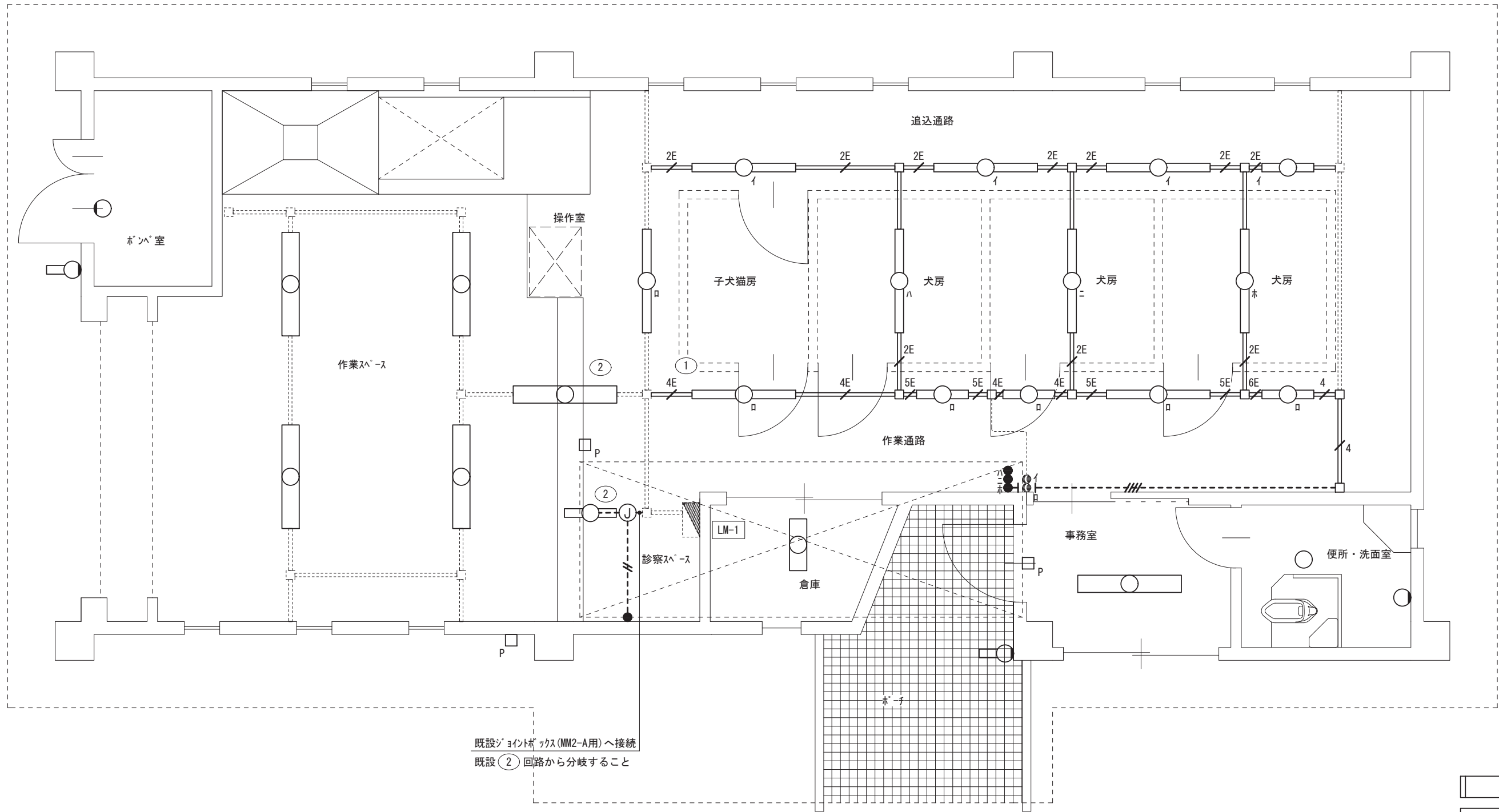
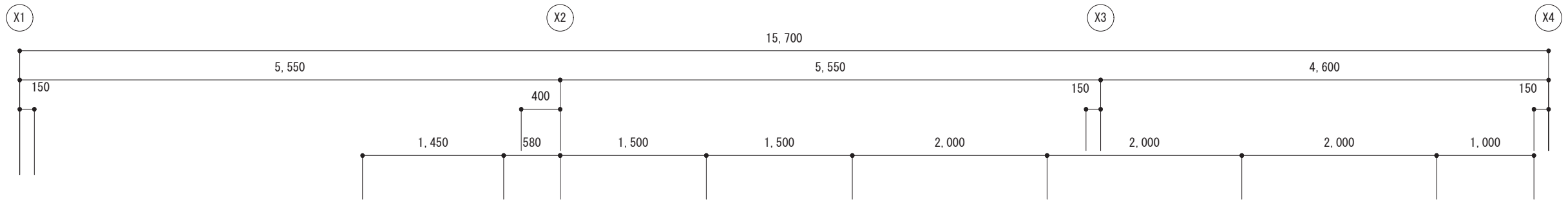
付近見取図

特記事項
1. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
2. 施工中の動線計画及び仮設計画については監督員と調整の上行うこと。
3. 改修内容は次のとおりとする。
・特記無き既設照明器具を撤去後、全て新設LED照明器具に更新を行うこと。
・既設吊りボルトのうち状態に問題ないものについては再利用してもよい。再利用できないか、既設照明器具がｽﾗｯﾌﾟ等構造体に支持されていない場合は、あと施工ﾌｧｰﾐにてｽﾗｯﾌﾟ等構造体に支持すること。（3kg未満の器具は除く）
・構造体からの支持が困難な場合は天井下地からの支持とし、落下防止措置を講ずること。
・特記無き配管・配線・ボックス類は既設利用とする。
・施設を使用しながらの工事のため、施設運営に支障がないように日程等を施設管理者及び監督員と調整の上、作業を行うこと。
・施工前・施工後に照度測定を実施すること。測定箇所は監督員の指示による。
・天井材の加工が必要な場合はｱｽﾞﾍﾞﾙ含有の有無を確認し、調査結果の揭示及び、報告を行うこと。
・日本ﾘﾅｰｼｬﾙ(ｼｬｰ)の回収ﾘﾅｰｼｬﾙの回収対象電池は、回収ﾘﾅｰｼｬﾙにより適正に処理すること。
・撤去後の照明器具は、安定器にPCBを含んでいないか確認を行うこと。安定器にPCBが含まれている場合は、監督員に報告の上、指示に従うこと。

照明器具参考姿図							
A202	LEDﾊﾞｰｽﾗｲﾄ直付型20形	B402	LEDﾊﾞｰｽﾗｲﾄ直付型40形	C202WP	LEDﾊﾞｰｽﾗｲﾄ直付型20形	D201WP	LEDﾊﾞｰｽﾗｲﾄ直付型20形
W150  3200lmﾀｲﾌﾟ、消費電力:20.1W 公共品番:LSS9-2-30		W150  5200lmﾀｲﾌﾟ、消費電力:31.9W 公共品番:LSS9-4-48		W150  1600lmﾀｲﾌﾟ、消費電力:11.6W 公共品番:LSS9MP/RP-2-14		W86  800lmﾀｲﾌﾟ、消費電力:6.0W 公共品番:LSS1MP/RP-2-07	
E322WP	LEDﾊﾞｰｽﾗｲﾄ直付型40形	F	LED浴室灯	G	LEDﾌﾟﾗｼｬｯﾄ	H	LEDﾌｵｰﾐｽﾗｲﾄ 20形
E321WP	LEDﾊﾞｰｽﾗｲﾄ直付型40形	W86  6900lmﾀｲﾌﾟ、消費電力:43.1W (E322WP) 3200lmﾀｲﾌﾟ、消費電力:31.9W (E321WP) 公共品番:LSS1MP/RP-4-64 公共品番:LSS1MP/RP-4-30		電球色 (2700K)、Ra80 器具光束696lm、消費電力7W、電圧100V 防湿型、ｼｼﾞ込み方式、天井直付型・壁直付型 ｶﾊﾞｰ:ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(乳白)、(ｸﾛｲﾄ) 光源寿命40000時間(光束維持率70%) 参考品番:LGW85017U		電球色 (2700K)、Ra80 光源寿命40000時間(光束維持率70%) 器具光束309lm、消費電力4.3W、電圧100V 防湿型・防雨型、ｼｼﾞ込み方式 天井直付型・壁直付型、ｶﾊﾞｰ:ｷｬｯﾁ付 ｶﾊﾞｰ:ｶﾞﾗｽ(乳白)、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(ｸﾛｲﾄ) 参考品番:LGW85014WF	
				消費電力:10W		 公共品番:LBF3MP/RP-2-06	

＝注記＝
1. 図中、形状・仕様等は参考とする。
2. 消費電力は、JIS C 8105-3 に依る。

作業スペース		外灯		ポンプ室		倉庫		追込通路		犬房		便所・洗面室	
E322WP	5	H	1	G	1	A202	1	D201WP	1	E321WP	3	F	1
診察スペース						ポンプ		作業通路		事務室		G	
C202WP	1					H	1	D201WP	3	B402	1	1	
								E321WP	2				

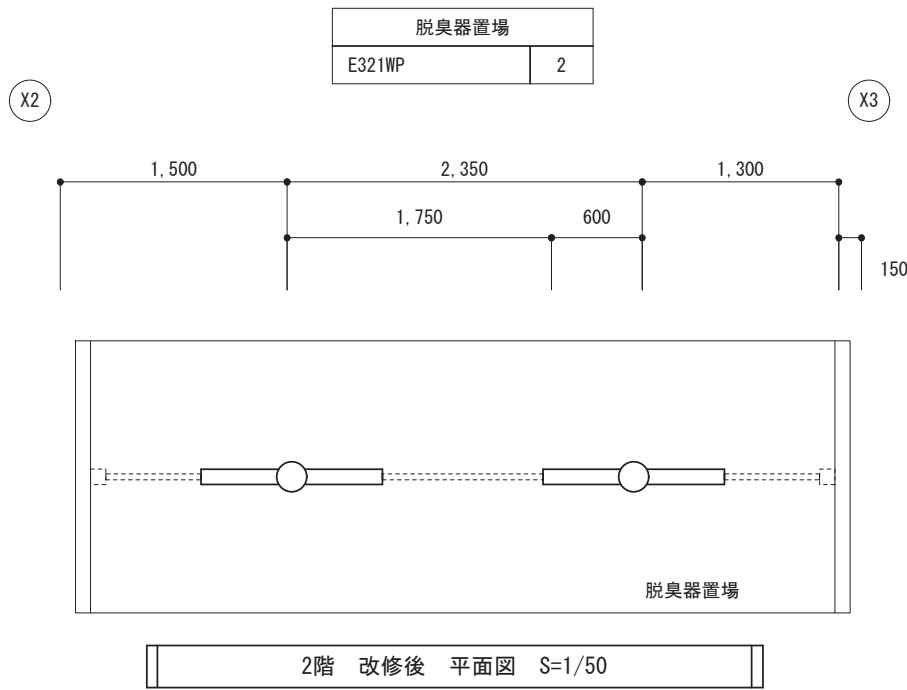


1階 改修後 平面図 S=1/50

凡 例

記 号	名 称	摘 要
●	埋込スイッチ	1P15A×1 露出ボックス(樹脂製)とも 新設
●●●	埋込スイッチ	1P15A×3 露出ボックス(樹脂製)とも 新設
□ P	カバープレート	新設
□	ジョイントボックス	MM2-A用 新設
ⓐ	丸形露出ボックス	3方出 (VE16) 新設
ⓐ	埋込スイッチ	1P15A×1 既設のまま

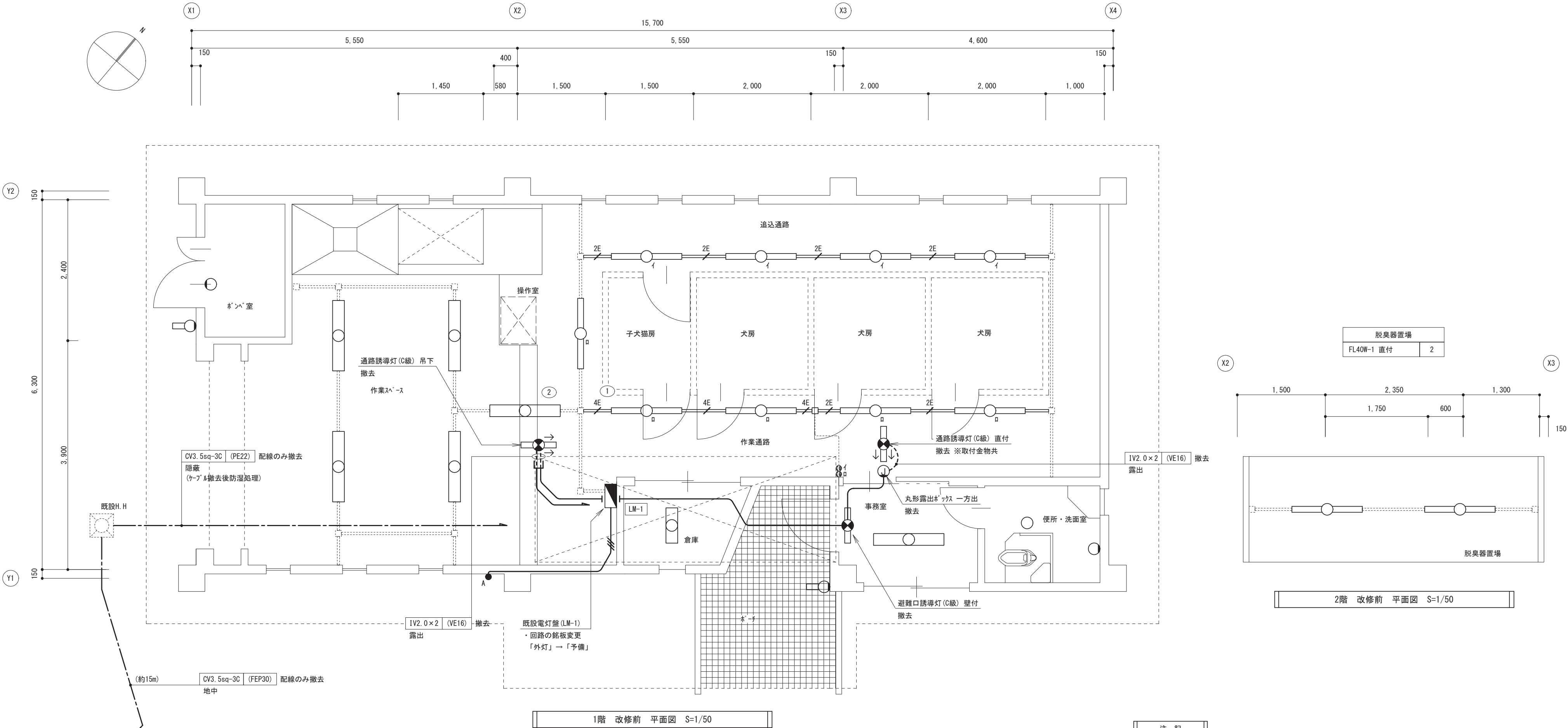
※図中、指示なきシンボルは標準図による。



注 記

1. 図中、太線で示す照明器具、配線器具を全て更新すること。	
2. 図中、細破線で示す配管配線・シンボルは既設を示し、既設のままとする。	
3. 図中、指示なき配管配線は下記による。	
-----	EM-1E2.0×2 E2.0 (VE16) 露出 新設
-----	EM-1E2.0×2 (VE16) 露出 新設
-----	EM-1E2.0×4 (VE16) 露出 新設
-----	EM-1E2.0×2 E2.0 (MM2-A) 新設
-----	EM-1E2.0×4 E2.0 (MM2-A) 新設
-----	EM-1E2.0×5 E2.0 (MM2-A) 新設
-----	EM-1E2.0×6 E2.0 (MM2-A) 新設
-----	EM-1E2.0×4 (MM2-A) 新設
-----	既設配線 既設のまま
-----	既設配線 (MM2-A) 既設のまま

作業スペース		外灯		がんへ室		倉庫		追込通路		事務室		便所・洗面室	
FL40W-2	5	ブラケット FUL13W-1	1	ブラケット IL40W-1	1	FL20W-1 直付	1	FL40W-1 直付	5	FL40W-2 直付	1	IL60W-1 直付	1
				がんへ子		作業通路							
				ブラケット FUL13W-1		FL40W-1 直付						IL40W-1 直付	



がんへ灯	
HF100W	1
※灯具及びがんへ灯は撤去、基礎は残置とする 基礎上でカバー切りのうえ、ML外埋めとする	

凡 例		
記 号	名 称	摘 要
● A	自動点滅器	撤去
□	ジョイントボックス	MM2-A用 撤去
□	ジョイントボックス	MM2-A用 既設のまま
⓪	埋込スイッチ	1P15A×1 既設のまま
※図中、指示なきシンボルは標準図による。		

注 記			
1. 図中、太線で示す照明器具、配線器具を全て撤去（更新）すること。			
2. 図中、細破線で示す配管配線・シンボルは既設を示し、既設のままとする。			
3. 撤去配管配線に於いて、打込箇所及び埋設箇所の配管は残置とする。			
4. 図中、指示なき配管配線は下記による。			
—	IV2.0×2 (PF16)	隠蔽	配線のみ撤去
—	IV2.0×3 (PF16)	隠蔽	配線のみ撤去
2E	IV2.0×2, E2.0 (MM2-A)		撤去
4E	IV2.0×4, E2.0 (MM2-A)		撤去
---	既設配線		既設のまま
.....	既設配線 (MM2-A)		既設のまま

鳥取県
令和8年度
J2600208
図面番号
第2編課

一級建築士事務所／建築設備設計事務所
Mechanical & Electrical Engineers
X.PLAN

一級建築士事務所
管理建築士 川合友加里
建築設備士 田村志郎

鳥取県知事登録 第 08-1014 号
一級建築士登録 第 370007 号
建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	川合	山下	山下

縮尺 1/50 (A2)
設計年月日 2026. 08

工事名称 中部総合事務所犬管理所照明設備LED化改修工事
図面名称 電灯設備 改修前 平面図

図面番号 E-06
06